

SSH・SGH研究発表会

SSH・SGH合同研究発表会は1月25日（金）に開かれ、2年SGコースと理数科の生徒がこの1年間取り組んできた課題研究の成果を発表しました。

県内外の高校や大学等から約70人の教職員等が見学に訪れました。啓泉講堂での口頭発表では、生徒の



ほか、多くの参観者が見守る中、24Hと20Hの代表グループがプレゼンテーションを行うと、クラスをまたいで鋭い質問が飛び交い、白熱した時間となりました。続いて24Hの生徒は、1階生徒ホールでポスターセッションを行い、各グループの研究について参観者に堂々と臆することなく研究について語りました。様々な質問や意見を受けて、今後の研究の方針を見つめ直す良い機会となったようでした。



24H生徒の感想 私はこの発表で質疑応答の重要性と難しさを体感した。やはり話し手が聞き手を引き込んで発表を伝えることも大切だが、より良い研究にする、より深く追究を進めるためには、質疑応答の時間ほど効果的なものはないと思う。

24H生徒の感想 今までやってきた研究の成果を最大限に発揮することができた。しかし、意見を聞くにつれて、自分にはまだ足りない要素が分かった。それは論理立った説明をすること。相手に伝えたいことや自分の知識は十分にあったとしても、どの情報を選び、順序立てていくことはまだできていないと思った。

24H生徒感想 理数科の発表で、津波の再現を行うにあたって、絵の具を用いているところが安価で済ませられるうえに結果が分かりやすく、優れた考えだと思いました。また、京都大学院生が、食べ物の分解力は人種によって異なるとコメントしていましたが、世界に应用するには今まで課題研究を進めてきたときよりも遥かに多角的な視点をもたなければならぬと気づかされました。



1年思考基礎の発表の様子

1年生のSG思考基礎とプラクティカルイングリッシュの授業を公開し、多くの参観者に見学していただきました。思考基礎では、生徒が互いにこれまで調べてきたことを発表し合いました。

NSH合同発表会

いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）課題研究合同発表会は1月29日（火）に県地場産業振興センターで開かれ、泉丘・七尾・桜丘・二水・小松・翠星高校の生徒が日頃の課題研究の成果を発表しました。本校からは、12月のNS探究α校内発表会で選出された22Hと23Hの3グループが参加しました。発表したり、他校の発表を聞いたりした生徒にとって、刺激的で有意義な機会となったようでした。



感想 まず課題と対策、結論がしっかりと結びついているかが重要だと思いました。また、質問が何かを理解し、聞かれたことに的確に答えることも重要だと思いました。他校の発表を聞いて、これからはフィールドワークをしっかりと行うようにしたいと思いました。

感想 個人的に、発表を聞いていて疑問がよく思い浮かぶようになりました。何で？どうして？みたいなこと、今までは大して気にしなかったことも、この研究を通して気に留めるようになりました。

感想 ポスター発表では、プレゼンとは違った難しさがあるけど見ている人全員に声が届くように、聞き取りやすい声を意識しました。この体験をこれからの繋げられるように、これからのNS探究も頑張ります。

第1回SGH北信越フォーラム

泉丘・附属・高岡・高志・敦賀・
長野・上田の7校

北信越地区のSGH校の生徒が集う「SGH北信越フォーラム」は3月15日(金)、16日(土)の1泊2日の日程で、石川県青少年総合研修センターと金沢大学にて、今回初めて開かれました。「みらい協創プロジェクト」には、本校から2年SGコースの8人が参加。全員異なる学校の生徒で構成されたグループで、与えられた課題に対して、テーマ設定、アイデアの具体化、スライド作成等をメンバーと協力して行い、2日目に聴衆を前にプレゼンテーションを行いました。泉丘の生徒は独創的なアイデアや高い発信力を持つ他校の生徒とうまくコミュニケーションを取りながら、グループのミッションを果たすべく力を発揮しました。2日目はポスターセッションも行われ、2年SGコースの8グループが他校の生徒たちと意見交換を行いました。



課題研究の成果共有 SG→NS NS→SG 互いに発表

2年SGコースの「NS文型へのプレゼンテーション」は1月16日に行われ、24Hの生徒が21~23Hの生徒に日ごろの課題研究の成果を発表しました。翌日には、NSH課題研究合同発表会に出場する22・23Hの3グループが24Hの生徒に対して課題研究の発表を行いました。改めて自分たちの研究について真剣に考えるきっかけとなったようでした。



全国高校生フォーラム

三校合同発表会 泉丘・附属・二水 48チームが参加

泉丘、金大附属、二水による三校合同課題研究発表会が1月12日(土)に金沢大学附属高校で行われました。本校から2年SGコースとNSH合同発表会に出場する22Hの2グループが参加しました。



SGH全国高校生フォーラムが12月15日(土)に東京国際フォーラムで行われ、2年SGコースの2人が英語で発表しました。

感想 他校の生徒の発表を聞き、自分と同年代の高校生が斬新なアイデアや、画期的なシステムを創り出していたことに刺激を受け、彼らに負けないように知識や、創造力を高めていきたいと思った。

感想 同年代の人で世界の問題について興味をよくもち、考察を深めて、そしてそれを英語で表現できる、これができる人がこんなにもいるのかと痛感しました。

エンパワーメントプログラム

留学生と3日間 附属と初の合同開催

留学生たちとディスカッション等の全ての活動を英語で行う「エンパワーメントプログラム」は12月25日(火)から3日間、iStudioで行われました。今回は初めて金大附属高校と合同で開かれ、泉丘からは15人が参加しました。初日は緊張していた生徒たちでしたが、最終日には全員英語で将来の夢を語るプレゼンテーションをやり遂げました。



感想 英語は感情や意見を伝えるツールだけであって、大切なのは伝えようとする事。言葉を述べる事、アイコンタクトやジェスチャーはとても必要である。自分を見直し、考えるとても良い機会になった。ツールであるが、英語ができると世界が広がる、もっと使えるようになるともっと深いディスカッションができると思った。

コマツ・勝山さんの講義



グローバル企業特別講義は2月6日(水)にiStudioで行われ、2年SGコースの生徒が、グローバル企業コマツの社員で海外駐在経験がある勝山治さんから異文化の中で異なる価値観を背景とする人々との協働の難しさや重要性を伺いました。